

# 晃華学園中学校高等学校

ノーブレス オブリージュから

TOGETHER WE へ



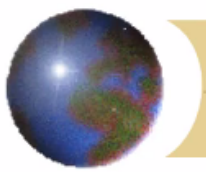
## ■目的

これまで行ってきた**SDGs**の取り組みが、キリスト教的価値観に基づいていることを理解し、ケアの文化の実践につながっていくこと。

## ■これまでおこなってきた取り組み

- ✪ カトリック学校であり、ユネスコスクールとしての生徒活動や行事の積み重ね





## SDGs活動 生徒の要望からスタート

- ✦ SDGs国際映像コンテスト
  - ✦ ハンディポット制作
  - ✦ 調布市空き家プロジェクト
  - ✦ SDGs啓発活動を都市銀行と
  - ✦ 地域清掃
  - ✦ Bible Garden
  - ✦ 歯ブラシ再生、チョーク再生プロジェクト
- etc.

## • 宗教の授業

ラウダート・シ（LS）については、三回にわけて実施している。  
フランシスコ教皇訪日の際の広島でのメッセージを読んで、教皇の平和に対する考えを知る。

- 広島では、他の宗教の人にも参列しメッセージを聞いている。教皇はカトリック以外の人たちにもメッセージを届けていることを視覚的にも認識してもらおう。
- 若者へのメッセージも、信者だけにメッセージを発しているのではないことを知る。
- 3回目にラウダートシの本を紹介する。
- 神の似姿としてつくられて、被造物を「支配しなさい」となっているが、支配とはつまりケアすること。世話をすることだよ、と再認識するために。

## ■ 取り組み概要

- 社会科の取り組みだと認識されていたSDGsの取り組みを、宗教行事と絡めて実施する
- 文化祭では、宗教委員会とコラボして、SDGsについての発表を行う。
- 2022年～

## ■SDGsの活動を、宗教行事と絡めて

- 11月に実施される中学3年生の静修会では、カリタス南相馬のシスター一畠中の講演会を開催した。
- 「いのち最優先」というテーマで、東日本大震災後の福島の様子やそこに生きる人々のお話をきいた。
- 震災後の福島の様子、人々の葛藤、・・・表情、そして、復興に向けての動き・・・。震災当時、わずか3歳であった生徒たちは、実際にどのようなことが起きたのか？どれだけ悲惨な状況があったのか？をほとんど知らず、当時の写真を目にし、食い入るように見ていた。
- 当時、福島に住んでいた生徒や福島に住む親族を持つ生徒の体験などをきく。生徒たちは「命」について、「生きる」ことについて、じっくりと考える時間を持ち、日常の穏やかな時間に感謝する時間にもなった。

## ■SDGsの取り組みを、宗教委員会や宗教科と絡めて

- 福島で風評被害対策としてコットンを育てている企業がある。そのコットンが用いられた商品を文化祭などで販売し、風評被害、取り残された人びと、エシカル消費などについてかんがえてきた。
- SDGsの活動がキリスト教的価値観とつながっていることを意識するため、文化祭での販売は宗教委員会と協力した。



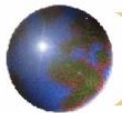
各教科が横断してサポート



Work Scene







## 宗教委員会と協働



宗教委員会によるカリタスジャパンの活動紹介





## 実際に福島で綿の収穫を手伝う



実際の作業プロセスを通して、どういうところに手間暇がかかり、お金がかかり・・・ということも学んだ。



## 生徒にとっての活動の意義(生徒のノウハウから)

### ◎オーガニックとは？

☞化学肥料や農薬を使用しない栽培方法。

持続的に栽培できる。

---

### ◎SDGsについて

『誰一人取り残さない』☞人間に限定

だが、土にも命は宿っている。→命の問題だと捉えるべき

## ■生徒たちの感想、気づき

問い：教皇フランシスコはラウダート・シの中で、「この世界で私たちの働きとあらゆる取り組みの目標はいかなるものか。わたしたちは地球から何を望まれているのか」という問いを避けては通れない、と言っています。あなたが実際に行っているSDGsにかかわる行動をあげながら、意見を書きましょう。

私は、地球から望まれているのは他を大切にすることだと思う。ここでいう他とは、他者だけでなく、身の周りの物や環境なども含む。普段から、環境に配慮してペットボトルキャップを集めたり、遠い国の労働者の方のことを思い商品の選択に慎重になったりしている。今までこれらは全く別の目的のために行っているとしたか多めなかったが、どれもあらゆるものとともに生きていくための行為だと気が付いた。他者を尊重する姿勢と、SDGsに関する取り組みが相互に影響しあうと考えると、SDGsを意識している現代社会は、他者をより大切にしていけるのではないか、と思う。

SDGsの活動は一見キリスト教とあまり関係ないように思いますが、元々は共通する考えを持っていると気づきました

SDGsの活動をしてきた中で、何のためにもともとの目標、目的は何か考える機会が少なかったため、これからは意識しながら、エコバックを持っていくなど小さなことかもしれませんが、取り組みたい。